

3 緑と水に関するアンケート調査概要

(1) 調査概要

①調査対象者及び抽出方法

- 調査対象：福生市在住の20歳以上の市民（基本台帳から無作為抽出）
- 標本数：1,000人
- 調査方法：郵送配布、郵送回収
- 実施期間：平成24年12月17日～平成25年1月15日

②回収結果

- 標本数：1,000人
- 有効回収数：326人
- 有効回収率：32.6%

(2) 集計にあたっての留意事項

アンケート調査を無作為に抽出して行う場合、その統計数値には誤差があり、それは次の公式によって算出されます。

標本誤差とは、ある設問の回答割合に対する誤差を示しています。

| | |
|---|--------------------|
| 【標本比率の標準誤差の算出式】 $\sigma = k \sqrt{\frac{(M-n)}{(M-1)} \times \frac{p(1-p)}{n}}$ | M ：母集団 |
| | n ：有効回答数 |
| | p ：結果の比率 |
| | k ：信頼率（95%）による定数 |
| | σ ：標本誤差 |

今回の実際の質問にあてはめてみると、例えば「日ごろ、あなたが接したり目にふれたりする緑には満足していますか？」という質問に答えた方は326人（=有効回答数 n ）であり、そのうち8.3%（結果の比率 p ）の人が「大いに満足している」と答えました。

今回の調査対象は、49,490人（平成24年12月1日の20歳以上の人口）であるため、上記式に入れると±3.0%が誤差の範囲となります。従って「大いに満足している」の方の真の値は、8.3%±3.0%=5.3%～11.3%の間であると考えられます。

表 各回答比率における標本誤差早見表

| 回答比率 | 10%または90% | 20%または80% | 30%または70% | 40%または60% | 50% |
|------|-----------|-----------|-----------|-----------|------|
| 標本誤差 | ±3.3 | ±4.3 | ±5.0 | ±5.3 | ±5.4 |